

日本体育大学

令和8年度入学者選抜 【出題の意図・模範解答】

学部・選抜方式	全学部 学校推薦型選抜 指定校推薦（全国）
科目	小論文

【出題の意図】

- ・小学生以下の子どもを対象としたスポーツ競技大会について、メリットとデメリットを整理し、物事を多面的に捉える思考力を問う出題とした。
- ・小学生以下の子どもの発達段階を踏まえ、スポーツ活動の意義や課題について、根拠を示しながら自分の考えを論理的に表現できるかを評価する。

【模範解答】

小学生以下の子どもを対象としたスポーツ競技大会には、メリットとデメリットの両面が存在する。

メリットとしては、大会という明確な目標を持つことで、子どものスポーツ競技への意欲が高まり、努力する経験や達成感、成功体験を得られる点が挙げられる。また、同年代の子どもと競い合うことで、自分の実力や課題を知り、競技への関心や継続意欲を高めるきっかけにもなりうる。さらに、ルールを守る態度や他者と関わる経験を通して、社会性や協調性などを育む機会になるという教育的意義も考えられる。

一方で、デメリットも少なくない。勝利至上主義が強まると、勝つことだけが目的となり、スポーツ本来の楽しさが失われるおそれがある。また、発達段階にある子どもにとっては、過度な練習や競争が心身への負担となり、怪我のリスクが高まる可能性もある。加えて、発達の個人差や生まれ月の違いが結果に直結しやすく、自己肯定感の低下や競技からの早期離脱につながることも懸念される。さらに、大会をめぐる保護者や指導者の過度な期待や関与が、子どもに心理的なプレッシャーを与えてしまう場合もある。

これらを踏まえると、小学生以下の競技大会を一律に肯定または否定するのではなく、子どもの発達を第一に考えた在り方を検討することが重要であると考えられる。例えば、順位や勝敗を過度に強調しない大会形式や、結果だけでなく努力や成長の過程を評価する仕組みを取り入れることで、メリットを活かしつつデメリットを軽減することができる。こうした経験は、子どもがスポーツを「評価される場」ではなく「学びの場」として捉えることにつながり、将来にわたって主体的に運動に親しむ姿勢を育てると考えられる。